

We Believe the Possibilities

ひとりのかけがえのないいのちのために

2024年3月期 第3四半期 決算補足資料

2024年2月
ステラファーマ株式会社(証券コード:4888)

- **売上高**は、**200**百万円(前年同期比**14.3**%増)と第3四半期の進捗として、計画通りのペースで推移
- 国内開発パイプライン拡充への投資を実施しつつも、主に米国へ向けた海外展開のための技術移管等の執行時期を見直した結果、営業損失、経常損失、当期純損失の**前回予想**を**修正**し、**損失幅が減少**
世界展開に向けての計画及び米国での製剤製造体制の確立に向けた取り組みは継続
- 治療開始から3年経過。学会でのセミナー実施後、医療関係者から勉強会開催の要望を受けるなど、治療実績を背景に認知度が向上。あわせて、地域医療機関向け勉強会開催など積極的な活動を展開
- 国内第Ⅱ相臨床試験中の**「切除不能な皮膚血管肉腫」**を対象として、**希少疾病用医薬品**の指定を受ける
- BNCT用ポリビニルアルコール(PVA)製剤の実用化に向け**三菱ケミカルグループ、東京大学と共同研究契約**を締結
- 海南島医療特区への薬剤提供に向け、現地関連当局や物流企業との協議及び輸出入手続き等を確認
建屋の外装工事が12月末に完了。中性子照射装置は1月末に日本から海南島に向け出航
- 米国・EU市場への展開に向け、関連する企業との交流や交渉、市場情報の収集を実施

2024年3月期 通期業績予想の修正

売上高は、BNCTの症例数が堅調に推移したことから据え置き
 米国へ向けた海外展開のための技術移管等の執行時期を見直した結果、営業損失は当初予想から522百万円、
 損失幅が減少、経常損失及び当期純損失それぞれ当初予想から530百万円、529百万円損失幅が減少

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株あたり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	269	△1,314	△1,324	△1,327	△44.28
今回修正予想(B)	269	△792	△793	△797	△25.74
増減額(B-A)	—	522	530	529	
増減率(%)	—	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (2023年3月期)	229	△806	△775	△778	△26.97

開発パイプラインの進捗状況

事業分野	対象疾患の詳細	基礎	前臨床	第Ⅰ相臨床試験	第Ⅱ相臨床試験	第Ⅲ相臨床試験	承認申請	販売承認	販売	
【BNCT】 ステボロニン® SPM-011	切除不能な再発頭頸部癌及び局所進行頭頸部癌	販売開始 2020年5月								
	再発悪性神経膠腫								第Ⅱ相臨床試験 (2016年2月～2019年6月)	
	再発高悪性度髄膜腫	第Ⅱ相臨床試験 実施中			※被験者登録終了 現在は経過観察中					
	血管肉腫	第Ⅱ相臨床試験 実施中								
	悪性黒色腫	第Ⅰ相臨床試験 観察期間完了			※第Ⅰ相臨床試験は血管肉腫と合わせて実施 現在、局所に限局した悪性黒色腫から 適応を広げることも含めて開発計画を検討					
	初発膠芽腫	第Ⅰ相臨床試験 実施中								
	胸部悪性腫瘍	臨床試験実施 計画中			※PMDA相談中 2024年6月までに治験計画届提出予定					

(単位:百万円)

	2023年3月期 第3四半期	2024年3月期 第3四半期	増減額	主な要因
売上高	175	200	25	BNCT症例数の増加
売上原価・販管費	678	667	△11	予算管理の徹底による販管費の圧縮
(研究開発費)	(185)	(208)	(22)	海外事業の展開に向けた研究開発費の増加
営業損失△	△503	△466	36	
経常損失(△)	△480	△466	13	
四半期純損失(△)	△483	△469	13	

貸借対照表



STELLA PHARMA

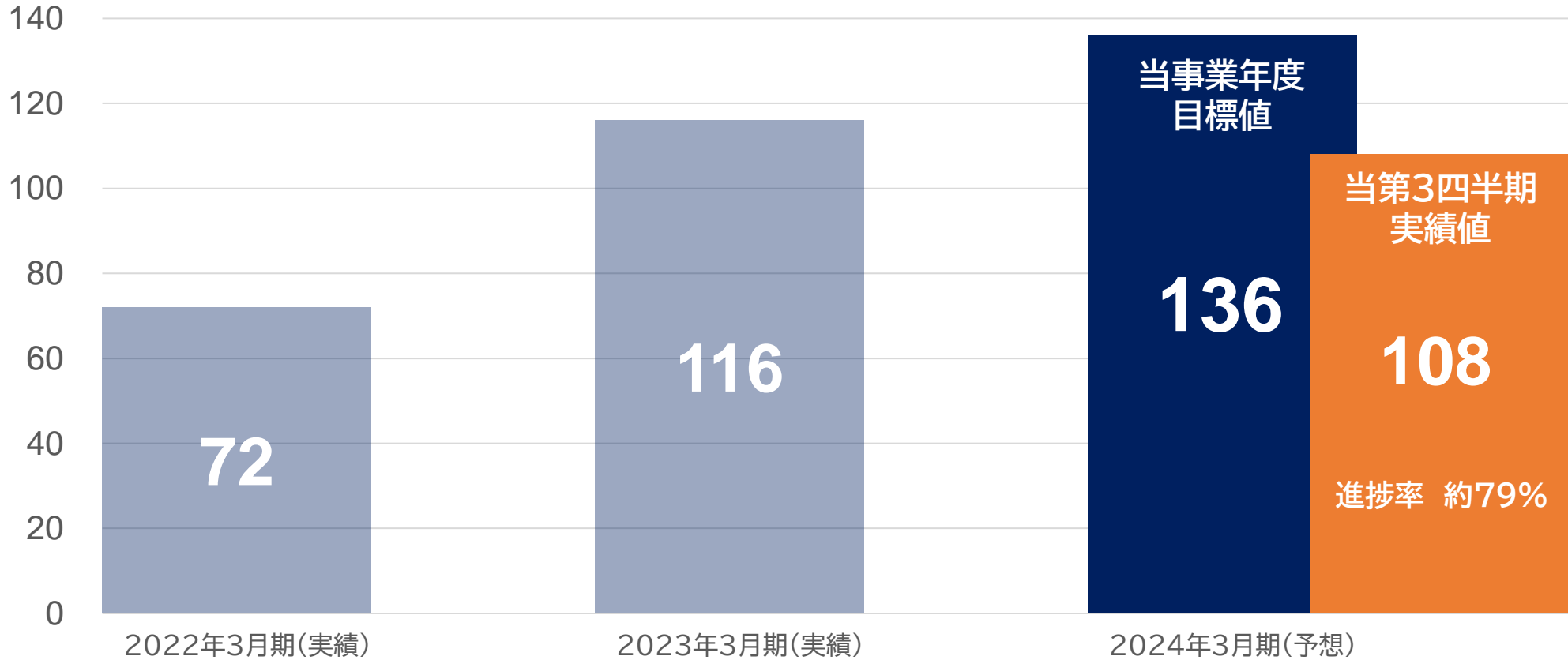
(単位:百万円)

	2023年3月期 期末	2024年3月期 第3四半期末	増減額	主な要因
流動資産	3,792	3,728	△64	
(現金及び預金)	(2,710)	(2,258)	(△452)	運転資金や研究開発費等の支出
固定資産	536	198	△338	投資その他の資産の減少
資産合計	4,329	3,926	△402	
流動負債	421	225	△195	未払金等の減少
固定負債	1,154	1,029	△125	長期借入金の減少
負債合計	1,576	1,255	△321	
純資産合計	2,752	2,671	△81	ワラントによる増資と四半期純損失の計上
負債純資産合計	4,329	3,926	△402	
自己資本比率	63.3%	67.8%	4.5%	

KPI(業績指標)の推移見込み

当社がKPIとする消費換算数量は堅調に推移するものと見込んでおります。

(単位:箱数)



※消費換算数量は、医療施設で実施された症例数に、当社が独自で算定しております平均消費袋数を乗じて得た値を箱数に換算したものであります。

- 本資料における計画や予想、戦略に関する記載については、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づく仮定によるものであり、当該仮定は将来の業績を保証するものではなく、実際の業績は今後様々な要因によって本資料の記載と著しく異なる場合があります。
- 本資料に含まれる当社以外に関する情報は、一般に公知とされる情報に拠っており、それら情報の正確性や適切性等について当社は保証するものではありません。
- 本資料に記載された内容は、事前の通知なくして変更されることがありますので、あらかじめご承知おきください。また掲載された情報の誤り等によって生じた損害等に関しましては、当社は一切の責任を負うものではありません。
- 本資料は、当社事業へのご理解をいただくために作成したものであり、医薬品及び医療機器に関する宣伝広告、医学的アドバイスを目的とはしておりません。
- 本資料は、いかなる有価証券の取得の申込みの勧誘、売付けの申込又は買付けの申込みの勧誘を構成するものではなく、いかなる契約、義務の根拠となり得るものでもありません。